

NEWS RELEASE

2026 年 2 月 5 日

株式会社ブロードバンドセキュリティ

四国銀行が BBSec のサイバーセキュリティへの防御サービス 「G-MDR」を採用

～金融庁ガイドラインが求めるサイバー防御対策の「検知～封じ込め」の
セキュリティ運用を 24 時間/365 日で支援～

情報漏えい IT 対策などセキュリティに特化したサービスを提供する株式会社ブロードバンドセキュリティ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：滝澤 貴志、以下 BBSec）は、当社のフルアウトソース型のセキュリティ運用サービス「G-MDR®（Global Managed Detection and Response）」が、株式会社四国銀行（本社：高知県高知市、取締役頭取：小林達司、以下 四国銀行）様に採用されたことをお知らせします。

G-MDR®は、サイバー攻撃の兆候を監視し、検知・分析から初動対応支援までを、24 時間 365 日体制で提供するサービスです。本採用により、四国銀行様は金融庁ガイドライン対応を踏まえたサイバー攻撃への運用高度化と、日々の運用工数の最適化を進めます。

【背景】

近年、国内外の金融機関を標的としたサイバー攻撃は複雑化し、国際的な対立構造を背景にしたサイバー攻撃も増加しています。

金融庁は、2022 年改訂の「金融機関等におけるサイバーセキュリティ管理態勢に関するガイドライン」や、2024 年公表の「金融分野におけるサイバーセキュリティに関するガイドライン」などにおいて、リスクベースアプローチによるサイバー攻撃への継続的な検知・対応強化を求めています。しかし、現場ではアラート対応の工数増大や、多数のセキュリティ製品間でのログ連携や、サイバー攻撃に対する高度な検知・分析・対応を行うためのノウハウや人材育成などが課題となっています。

これらの課題に対し、四国銀行様には BBSec の「G-MDR®」を採用いただきました。G-MDR®は、OpenXDR（Extended Detection and Response）基盤を採用しており、異なるベンダー製品間のデータを統合的に相関分析することが可能です。これにより、特定ベンダーに依存しない柔軟な監視体制を構築し、迅速な脅威検出と対応を実現します。

【今後の展開】

BBSec は「Vision 2030」において、「すべての組織にサイバー・レジリエンス（復元力）を」を掲げ、国内外でのマネージドセキュリティサービスの高度化と自動化を推進しています。今回の G-MDR[®]採用は、その実現に向けた重要な一歩です。OpenXDR による相関分析の自動化や、AI を用いた脅威インテリジェンスの統合は、将来的に全産業へ展開可能な標準モデルとして位置付けられています。

また、G-MDR[®]は、「24/365 監視の内製困難」「人材不足」「多製品ログの統合」などの課題を解決するサービスで、金融機関に限らず、同様の要件を持つ案件を複数協議中です。

BBSec は今後も、金融機関をはじめとする重要インフラ事業者に対し、先進的なサイバー防衛ソリューションの提供を通じて、安全・安心なデジタル社会の実現に貢献してまいります。

【BBSec について】

BBSec は、2000 年創業のトータルセキュリティ・サービスプロバイダーです。現状の可視化や診断から事故発生時の対応、24 時間/365 日体制での運用まで、フルラインアップのサービスを提供しています。高い技術力と豊富な経験、幅広い情報収集力を生かし、「サプライチェーンを狙った攻撃」「社会インフラを狙った攻撃」「AI 時代のセキュリティ」を解決すべき社会課題ととらえ、より多くのお客様を悪意ある攻撃者から守ることで、「便利で安全なネットワーク社会を創造する」というビジョンを実現します。

※記載の会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

【本リリースに関するお問い合わせ】

株式会社ブロードバンドセキュリティ 経営企画部

TEL：03-5338-7430 E-mail：press@BBSec.co.jp